

うつのみや



しゃ きょう



社協だより

平成24年2月1日発行

◆ 143号 ◆

編集発行
社会福祉法人

宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

歳末たすけあい運動配分事業を実施しました

「歳末たすけあい募金」は、地域住民や各種福祉団体が推進する地域福祉活動に役立てられる募金運動です。皆さまからの温かいご協力により、今年度も多くの団体や福祉施設に配分され、歳末の事業が実施されました。ご協力ありがとうございました。



石井地区社協「石井地区年末年始一人暮らしあったか訪問事業」地区内の一人暮らし高齢者250人に対し、福祉協力員が地区担当民生委員と一緒に訪問し、ネックウォーマー、使い捨てカイロをあったかプレゼントとして差し上げました。



宇都宮市障害者福祉会連合会「ハッピーフェスティバル」会員が一堂に集まり、落語などの演芸を楽しみ、会員の親睦を深めました。



生きがい対応型テイサービスゆうゆう倶楽部「クリスマス会」各曜日の利用者が一堂に会し、カラオケ、川柳、フラダンス、詩吟など、日ごろの講座の成果を発表し、楽しいひと時を過ごしました。



バンビーニとよさと「バンビーニフェスタ」園児、保護者、小学生、地域の方々が、それぞれ歌や踊り、劇などを発表し、互いに交流を深めました。

—— “うつのみや社協だより” は、「回覧」です。よろしくお願ひ申し上げます。 ——

地区社協活動紹介コーナー

地区社協において取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。

【お問い合わせ】

地域福祉課

電話 636-1215 FAX 610-6605



宮の原 地区 社会福祉協議会

宮の原地区は、東武宇都宮線の南宇都宮駅北口を中心とした駅前通り商店街が地元の人々にぎわい、住宅も多く市内中心部までも近いとても暮らしやすい地区です。

～男性調理講習会で男の料理に舌鼓～

11月24日(木)に宮の原小学校の調理室をお借りして、男性調理講習会を開催しました。当日は18名の参加があり、普段料理をしている方もそうでない方も、役割を分担しながら楽しく料理を作り、おいしく食事をいただきました。男同士で話をしたり、互いの料理の腕をほめあったりと、和やかな雰囲気が広がりました。次回は2月に実施予定です。



～サロン事業「ふれあい弥生ルーム」～

12月8日(木)に弥生町公民館で、サロン事業「ふれあい弥生ルーム」を開催しました。弥生町は宮の原地区の中でも高齢化率が高く、多くの高齢者がお住まいの地域です。高齢者の方の交流の場作りのために、今回初めてのサロン開催になりました。

初回にもかかわらず10名以上の高齢者の方の参加があり、福祉協力員や民生委員の方々とも交流を深めました。当日は、お茶や漬物、おしるこなどがふるまわれ、おしゃべりをしながら思い思いの時間を過ごし、笑顔の交流の輪が広がりました。このサロン事業は、今後も定期的に行う予定です。

河内 地区 社会福祉協議会

河内地区は、平成19年の合併により旧河内郡河内町から宇都宮市となりました。JR東北本線の岡本駅を中心とした商店街や閑静な住宅街、大型住宅団地のグリーントウンや、古くからの宿場町「白沢宿」の趣のある街並み、お米どころの農業地域や森林地域の混在する地区です。



～第4回河内地区ふれあいまつり～

11月27日(日)に第4回河内地区ふれあいまつりを開催しました。当日は、快晴の下、約4,800人の多くの皆さまの来場をいただき、まつり協力者と来場者の、世代を超えた交流が生まれました。「福祉体験」は地区社協の福祉協力員や、ボランティアサークルの皆さんの協力で実施し、小さな子どもから高齢者まで、多くの方が体験しました。体験者の方々は皆、「優しさ」というおみやげを、お持ち帰りになりました。



ゆたか幼稚園鼓笛隊によるオープニングセレモニー!



福祉協力員のサポートで小学生が福祉体験!

～ふれあい会食会～

河内地区のふれあい会食会は、河内総合福祉センターにおいて3支部(河内・古里・田原)ごとに開催しています。

地域のスーパーマーケットからお届けいただく、栄養に配慮した弁当もおいしいと評判で、また地域包括支援センターによる健康講話や体操・脳トレなども大好評!

今年度は、試行的に「福祉タクシー」を手配し、乗り合わせで遠方からの参加者の移動支援を行い、バスの通らない地域の方にもご参加をいただき、多くの交流が図られました。



参加者の方同士、「久しぶり!」「元気だったか!」と声を掛け合い、毎回会えるのを楽しみにしています。





西 地区 社会福祉協議会

西地区は市内中心部に位置し、東武宇都宮駅を中心に「オリオン通り」や「ユニオン通り」など、古くから栄えた商店街のある商業地区です。またカトリック松ヶ峰教会や清住通りの古くからの情緒あふれる建物、暮盤の目のように整備された美しい街路や立派な旧家などが残る、歴史・文化の薫る地区でもあります。

～「ベストフェスタin西」～

毎年開催される西地区の祭典で、今年度は10月29日(土)にオリオンスクエアで開催しました。西地区社協では役員・福祉協力員、また民生委員が参加し、地域包括支援センターとともに、来場者への声かけや健康相談ブースの運営を行いました。

地域包括支援センター「さくら・西」と「御本丸」の協力により、来場者の健康相談・血圧測定などを行いました。



慣れない手つきながらも、皆さん真剣！同年代の方々と楽しみながら作ることで、より美味しく感じます！

～「男子調理教室」～

西地区では、男性高齢者等を対象とした「男子調理教室」を年2回開催しています。10月4日(火)に行った講習会のメインディッシュは「豆腐ハンバーグ」でした。わきあいあいと楽しく作った料理を美味しくいただき、参加者同士の交流も深まりました。食後は、地域包括支援センターによる健康講話で、健康は、バランスの取れた食事が大切であることを学びました。

陽東 地区 社会福祉協議会

陽東地区は市内東部に位置し、地区中心部の「シンガー日鋼」跡地に新しい住宅地や大型ショッピングモールが建設され、ここ数年で街の様相が大きく変わった地区です。

また宇都宮大学工学部や産業技術大学校があり、多くの学生で賑わっています。宇都宮大学工学部前の桜並木は市内有数の景観で、毎年多くの人たちが花見に訪れます。



～「陽東地区サロン」で楽しいひととき～

陽東地区では地域包括支援センターの協働で、地域の高齢者等を対象に最寄りの公民館などを会場に毎月2～3回開催しています。体操や脳トレなどのレクリエーションやおしゃべりをしながら、楽しい時間を過ごしています。参加したい方、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



「にこにこ会」(中久保公民館)



「さつき会」(東中久保公民館)

「みんなで集まれて、多くの人とおしゃべりができて楽しい」「近くで気軽に来られるのでうれしい」など参加した皆様の評判は上々です！



「さくら会」(トレモンテ陽東)

～「ウインターカーニバル」～

12月17日(土)に青少年育成会の協力により「ウインターカーニバル」を開催しました。地域の子もたちや高齢者などが参加し、もちつきやガラスアート、バルーンアートを行ったり、温かい豚汁などの模擬店で賑わいました。

当日は、参加者が持ち寄ったエコキャップの回収を行い、約39kg(ポリオワクチン約19.5人分)のエコキャップを宇都宮市社協に寄附することができました。



ボラセン情報
コーナー



宮城県七ヶ浜町の仮設住宅で支援活動

「手打ちそばの炊き出し」「クラリネット演奏会」
「リラックス体操」「わたあめの無料配布」で交流

東日本大震災 被災地支援活動報告

前日の雪が残る寒い中、七ヶ浜中第2グラウンド仮設住宅にお住まいの方々にお集まりいただき、リラックス体操で体をほぐした後、300食用意した手打ちそばの炊き出しを行いました。また、食後には宇都宮クラリネットアンサンブルによる演奏に多くの方が耳を澄まし、やすらぎのひと時を過ごしていただきました。

最後に、宮っ子フェスタや宇都宮市民福祉の祭典で来場された皆様からお寄せいただいたあたたかな応援メッセージを、仮設住宅の皆さんに届けてきました。

12月18日（日）、これまで泥出し等の支援を行ってきた宮城県七ヶ浜町において、生活面や心のケアを目的として、ボランティアによる「手打ちそばの炊き出し」や「クラリネット演奏会」「リラックス体操」「わたあめの無料配布」を行い、交流してきました。

▼大勢の方にお蕎麦を
食べていただきました♪



▲メッセージを仮設住宅の
皆さんにお渡ししました♪



絆づくり防災講演会のお知らせ

釜石市の防災教育から考える“地域福祉”

～大津波から命を守った児童・生徒の主体的行動に学ぶ～

これまで、栃木県は比較的災害の少ない土地と言われてきましたが、東日本大震災では宇都宮市などの5市町で震度6強の揺れを観測し甚大な被害をもたらすなど、今後の防災対策が改めて問われるとともに、平常時からの地域福祉の重要性が再認識されています。こうした中、岩手県釜石市では平成16年から児童・生徒を中心に防災教育を行い、その教えを受けた子どもたちは津波発生後、主体的に避難行動を実践し、学校の管理下にあった約3,000名全員の無事が確認され、『釜石の奇跡』として紹介されました。

そこで、児童・生徒を中心に実践されてきた釜石市の防災教育から、平常時における地域住民相互の「支えあい」「助けあい」を基本とした「絆づくり（地域福祉）」について考えるとともに、一人ひとりの防災意識の高揚を図ることを目的に講演会を開催します。



▲片田 敏孝 氏

○群馬大学広域首都圏防災研究センター長
○群馬大学大学院工学研究科 教授

- 共 催 栃木県社会福祉協議会・宇都宮市社会福祉協議会
- 日 時 平成24年3月24日（土）13:00～16:00
- 場 所 とちぎ健康の森・講堂
- 対象者 宇都宮市民、地区社会福祉協議会、福祉協力員、民生児童委員等の福祉関係者、学校関係者、学生など
- 内 容 ①活動報告（13:05～13:45）
『東日本大震災における宇都宮市社会福祉協議会の取組み』
②講演（14:00～16:00）
- 参加費 無料
- 定 員 先着350名
- その他 手話通訳、要約筆記あり
- 申込み 3月1日（木）より、電話・FAXまたはメールにて、氏名・連絡先（複数名でお申込みの場合は、代表者の氏名・連絡先・参加人数）を明記しお申込みください。

～プロフィール～

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。

また、内閣府中央防災会議をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたり、主な学会活動として、日本災害情報学会理事、日本自然災害学会理事がある。

【お申し込み・お問い合わせ】 ボランティアセンター

電話 636-1285 Fax 634-2870

Eメール miya-vc@ap.wakwak.com

シリーズ

**福祉教育(共育)
第2回**

～視覚障がい Part. 2～

前号からシリーズで掲載している福祉教育(共育)ですが、前号に引き続き、視覚障がいについてご紹介します。

第2回『視覚に障がいのある方にお会いした場合の接し方について』

♥「見えない」「見えにくい」にも違いがあります。

視覚障がいと言っても人によって見え方に違いがあり、白杖を持っていたり盲導犬と一緒にいるなど、一見して目が不自由と分かる方もいますが、弱視や視野狭さくなど、外見からは目が不自由と分からない方もたくさんいます。



♥最初に声をかけましょう♪

目の見えない方や見えにくい方に会ったら、まずは声をかけてください。視覚に障がいのある方は、視覚以外のあらゆる感覚を使って情報を集めていますが、その中でも耳から得る情報はとても大きく、お会いした場合には、「△△の〇〇です。」といったように皆さんの名前も付けて声をかけることが大切です。相手が知らない方の場合で、困っている様子を見かけた場合には、「〇〇と申しますが、何かお困りですか?」といったように声をかけてください。



♥声で答えましょう♪

聞かれたことを答える場合には、声で答えてください。黙ったままうなづいたり、首を横にふったり、指で示したりするだけでは伝わりません。

♥具体的に分かりやすく説明しましょう♪

場所や道を説明するときなどは、「あっち」「こっち」「向こう」といったあいまいな言葉では分かりません。「みぎ」や「ひだり」、「ここから〇〇メートルくらい」といったように、具体的に分かり易く説明しましょう

※次回は、視覚に障がいのある方を誘導するときの「手引きの方法」についてご紹介します。

ボランティア活動保険 更新・加入手続きのお知らせ

平成23年度用「ボランティア活動保険」の補償期間は、平成24年3月31日午後12時までです。
引き続きまたは新たに加入を希望される方は、更新・加入の手続きが必要となります。

■手続きに必要なもの

- ①掛金
- ②印鑑 (複数名でご加入の場合は、代表の方の印鑑)

■補償内容及び保険金額

	Aプラン	Bプラン
死亡	1,400万円	2,000万円
後遺障害	1,400万円	2,000万円
入院日額	7,000円	11,000円
手術	入院保険金をお支払いする場合、事故発生日からその日を含めて180日以内にそのケガの治療のために所定の手術を受けられたとき、入院保険金日額に手術の種類に応じて定めた倍率(10倍・20倍・40倍)を乗じた額。1事故につき1回の手術に限る。	
通院日額	4,100円	6,370円
賠償責任	5億円(限度額)	5億円(限度額)
年間保険料	基本タイプ 280円	420円
	天災タイプ 天災A490円	天災B720円

※天災タイプでは、基本タイプにおける補償に加え、天災(地震・噴火・津波)によるケガも補償されます。

■手続き開始日

平成24年2月1日

■補償期間

平成24年4月1日午前0時～
平成25年3月31日午後12時

(※4月1日以降加入の場合は、加入手続き完了日の翌日午前0時～)

■新規加入について

新規で加入を希望される場合には、宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンターへのボランティア登録(個人・団体)が必要となります。詳細はお問い合わせください。

【手続き・お問い合わせ】

ボランティアセンター
中央1-1-15 電話 636-1285 FAX 634-2870
上河内支所
松田新田町116-1 電話 674-4003 FAX 674-4258
河内支所
白沢町385 電話 673-8453 FAX 673-1029



ご利用ください
社協の福祉サービス

福祉車両 貸し出しサービス

身体機能の低下や障がい等で公共交通機関の利用が困難な方の外出を支援するため、車いすごと乗車できる福祉車両を貸し出します。

利用できる方 宇都宮市内在住の高齢者や障がい者の方。

利用について

利用は月2回まで。利用料は無料ですが、実費（燃料費・有料道路料金等）は自己負担となります。利用にはご予約が必要です。



貸出車両の一例

※車両の貸し出しは

宇都宮市社会福祉協議会福祉サービス課
上河内支所・河内支所で行っております。



【ご予約・お問い合わせ】

福祉サービス課 中央1-1-15 電話 636-1215
上河内支所 松田新田町116-1 電話 674-4003
河内支所 白沢町385 電話 673-8453

障がい者福祉センター 医療・生活相談

障がいに関してお悩みの時は、毎月行っている医師による医療・生活相談にご相談ください。

日程 平成24年 3月10日・4月14日

5月12日・6月9日

7月14日・8月11日

9月8日・10月13日

11月10日・12月8日

平成25年 1月12日・2月9日

3月9日 ※すべて土曜日



時間 午前10時～正午

対象者 障がいの有無に関わらず、どなたでも。
※家族からの相談も可。
但し障がい者手帳のある方が優先となります。

定員 毎回2名（事前にお申し込みください。）

【お申し込み・お問い合わせ】

宇都宮市障がい者福祉センター（総合福祉センター2階）
電話 639-1050 FAX 639-1052

ぎんなん基金 ご協力ありがとうございました

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

H23年8月17日～12月31日受付分

寄附順・敬称略

寄附者（団体）	金額（円）	寄附者（団体）	金額（円）	寄附者（団体）	金額（円）			
8月	(株) ジョウソー	4,049	10月	横川地区まちづくり協議会	30,590	11月	石井地区自治会連合会	6,654
	岡本地区ふれあいカラオケクラブ	22,735		松本和将さんを応援する会	10,000		カトリック峰教会	30,000
	三信電工(株)	11,230		ことぶき彩墨画愛好会	16,600		築島 時三郎	2,000
	栃木銀行 石井町支店 お客様一同	3,233		飯田福祉会	3,000		三信電工(株)	11,120
	築島 時三郎	2,000		デイサービスセンターことぶき	3,000		御幸地区北自治会	3,840
	キヌ・マイリングクラブ ナツメロ練習発表会	18,260		築島 時三郎	2,000		御幸地区文化祭	4,150
	河内地区長寿88芸能講座	16,838		手塚 征史	2,000		上河内地区社会福祉協議会	20,000
	シルバー人材センター 編みぐるみ	1,800		なかよし善行ネットワーク	15,436		横川地区ふれあいまつり実行委員会	57,300
	パブ・ソワール	4,814		栃木県歌謡協会 宇都宮東支部	31,191		テクニカルショップ エルカホン	7,113
	大貴 隆久	2,910		(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	20,000		大衆酒蔵こ दौर	12,199
9月	栃木県歌謡協会 宇都宮北支部	30,000	三信電工(株)	8,900	宇都宮大学教育学部附属小学校	10,000		
	支部長 石川 友久	30,000	雀宮地区社会福祉協議会	78,600	F F F 総務委員会	10,000		
	宇都宮市総合福祉センター お客様一同	15,252	成願寺	159,317	宇都宮ヤクルト販売(株)	352,000		
	坂本 タケ	1,000,000	河内地区カラオケ同好会	14,460	大矢 将大	5,000		
	築島 時三郎	2,000	ひまわりあみものクラブ	10,000	真如苑	200,000		
	サンユ-山本店 お客様一同	16,431	(有)うつのみや緑花木センター	21,769	12月	三信電工(株)	12,330	
	三信電工(株)	12,840	栃木県街商協同組合	20,000	なかよし善行ネットワーク	22,000		
	栃木県歌謡協会 宇都宮西支部	30,000	キヌ企画 代表 増井 満	15,184	代表 宋 美恵	22,000		
	支部長 小川 悦子	30,000	ビクター歌謡教室 坂本 章	30,000	手塚 征史	2,000		
	宇都宮おおるりライオンズクラブ 会員一同	30,000	やすらぎ荘アートフラワークラブ	1,800	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	15,000		
10月	宇印宇都宮青果(株)・東一栃木	33,200	豊郷地区社会福祉協議会	10,497	築島 時三郎	2,000		
	青果(株)・(株) 宮市	33,200	横川地区ふれあいまつり実行委員会	2,780	農産物生産直売所まごころ店	5,000		
	ことぶき会館 お客様一同	9,794	豊郷地区婦人会	5,250	オータニ五代店 お客様一同	18,649		
	中央地区社会福祉協議会	10,000	豊郷地区子ども会育成会連絡協議会	16,278	サンユ-岩曾店 お客様一同	12,347		
	茂原健康交流センター お客様一同	7,221	雀宮地域婦人会西田支部	3,000	下野音楽研究友の会	30,000		
	宇都宮東武ホテルグランデ中国	30,109	フレール戸祭店 お客様一同	1,298				
	料理竹園 お客様一同	30,109	日本信号(株) 宇都宮事業所	400,000				

累計 3,615,681円
(H23年4月1日～H23年12月31日)